

第2回「川に学ぶ体験活動発表交流会」実施概要（案）

テーマ

- 1 事業名称 川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州
- 2 主催 川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州実行委員会
- 3 開催場所 ①メイン会場 紫川河畔(市庁舎近隣)～全体会
②サブ会場 北九州国際会議場～川に親しむ基礎講座
かぐめよし少年自然の家
- 4 開催日程 平成14年10月12日(土)～14日(月) 2泊3日
- 5 事業規模 参加者300名程度
- 6 事業内容 別紙①のとおり
- 7 事業経費 9,700千円
- 8 その他 日程＝別紙② 実行委員会＝別紙③ 予算＝別紙④

北九州方式

この交流会の前身、「川に学ぶシンポジウム」は、静岡、北上川、近畿、また第1回交流会は岡山と何れも一級河川で開催されてきましたが、今回北九州市では延長22.4kmの二級河川紫川を舞台とします。

川の規模、流域の規模、活動団体の多寡等何れも小さく、全国大会を開催するにはその基盤が少し脆弱かもしれません。しかし、今回あえて小さな川がこの大会に立候補することにより、小さくても『ふるさとの川』を見直す良い機会として考えています。

全国の川が好き、自然が好きな方々に北九州市の小さな川をたっぷり楽しんでいただき、逆に我々北九州市民はじめ、200万都市圏の人々は、全国の方々からそのパワーや知恵を吸収し、**この都市圏に大きな『川ネットワーク』を構築するきっかけ作り＝北九州方式＝**を目指します。

小さいからこそ、1つの市の中に起承転結が凝縮された紫川での交流会。百万都市の中心部を流れる『ふるさとの川』で、従来の分科会、全体会のスタイルを一変した楽しい川の集いを計画します。

別紙①

事業内容

全体会 『川に食う、川を食う』～川は食文化のちゃんこ鍋

お国自慢川料理屋台村（世界の川料理）

予め、市外参加者5～6人と北九州市民のアシスタントスタッフ2～3名のチームを編成し、お国自慢料理を作り、参加者、一般来場者に原価程度で販売試食する。各チームは、事前にメニューや材料、道具等を電話やメールで相談し、市民スタッフがその準備や会場設営等をフォローする。

各チームには、材料費として30,000円を助成する。売上金については川の活動に役立てるよう検討する。

水上マーケット（アジアの川現わる）

Eボートや、かつての筑豊から若松海岸への石炭運搬船「五平太舟」、カヌー一等を使用して水上マーケットを作る。参加者は、カヌーやゴムボートで買い物をし、水上食文化を体験する。

北九州市の離島『藍島』からの産地直送の魚介類の即売もあります。

北九州市役所横の紫川は、マイタウンマイリバー制度により、町並みと一体となった整備が行われています。ここは、感潮域で、高度成長期、違法建築とドブ川と化していましたが、その後の浄化活動、下水道整備等により甦り、今では市民の憩いの場所となっています。

100万都市の真ん中での交流会ですが、市民や多くの方々が参加しやすいこと、北九州市が誇れる場所として設定しています。

日 程

1 日 目		
13:00	受付、各班でお国自慢料理仕込み、パネル等の設置	水環境館、 紫川河畔
18:00	全体会：お国自慢料理屋台村出店、交流会	紫川河畔
21:00	片付け	紫川河畔
2 日 目		
10:00	講演会	国際会議場
13:00	川に親しむ基礎講座 マイ・レスキューロープづくり	国際会議場
以後オプション		
15:00	川に親しむ基礎講座	かぐめよし少年自 然の家
18:00	情報交換会	かぐめよし少年自 然の家
3 日 目		
9:00	鍾乳洞ケイビング、紫川源流探検	平尾台、 紫川源流部
15:00	解散	小倉駅